

# U.S. Indicators

マクロ経済指標レポート

## 米国 フィラデルフィア連銀管轄地区製造業の拡大持続

(06年2月フィラデルフィア連銀製造業景況指数)

06年2月17日(金)

～トレンドは緩やかな拡大傾向を示す～

(No. UI - 202)

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : [seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp](mailto:seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp))

フィラデルフィア連銀製造業景況指数

	フィラデルフィア連銀製造業景況指数											6か月先見通し 総合
	現状 総合	新規受注	出荷	在庫	雇用	出荷遅延	受注残	販売価格	仕入れ価格	交易条件		
05/02	22.1	12.3	21.5	4.9	11.8	5.4	1.5	23.8	43.4	19.6	27.8	
05/03	14.2	15.3	16.8	2.5	11.0	2.1	1.8	18.1	28.6	10.5	30.3	
05/04	24.6	19.5	30.0	0.4	17.4	2.9	2.0	26.6	47.8	21.2	29.7	
05/05	10.3	16.1	17.2	0.3	7.4	0.2	3.3	15.6	32.0	16.4	24.7	
05/06	0.0	5.7	9.9	2.7	7.4	11.8	17.2	10.9	28.2	17.3	29.9	
05/07	9.6	7.3	11.2	10.7	3.1	1.5	9.8	12.4	31.8	19.4	16.7	
05/08	15.5	17.6	15.7	8.7	6.8	0.5	6.2	2.9	26.9	24.0	26.7	
05/09	7.0	0.0	14.3	1.4	4.6	1.1	9.8	8.1	50.6	42.5	8.9	
05/10	13.1	15.9	16.8	3.9	15.3	7.8	1.3	32.5	66.7	34.2	23.8	
05/11	10.7	10.8	20.3	3.2	15.7	9.3	6.7	30.2	55.1	24.9	28.0	
05/12	10.9	5.8	9.4	4.1	7.9	0.5	1.5	29.7	47.1	17.4	33.4	
06/01	3.3	11.1	18.6	9.1	11.7	8.6	0.9	21.9	44.9	23.0	28.7	
06/02	15.4	12.5	22.5	9.3	11.3	8.6	10.2	18.2	30.5	12.3	31.1	

(出所)フィラデルフィア連銀

### 15.4 と前月から

#### 12.1 ポイント上昇

06年2月のフィラデルフィア連銀製造業景況指数(フィラデルフィア連銀管轄地区の製造業、ゼロが拡大縮小の分岐点)は+15.4と前月から12.1ポイント上昇し市場予想の+13.0を上回った。拡大縮小の分岐点であるゼロを上回っていること、さらに新規受注指数、出荷、受注残が上昇していること、半年後の景況感を示す指数が上昇したことから、2月の同地区製造業部門の業況は大幅に強まった。ただし、この統計は月次での変動が大きい統計であるため3ヵ月移動平均をみる必要があるが、同ベースでの総合指数では、同地区製造業部門が緩やかな拡大基調が持続していることが示されている(2Pグラフ参照)。

### 目先雇用の拡大を示唆

個別にみると、新規受注のプラス幅が拡大、受注残が増加に転じ、在庫のプラス幅がほぼ前月と変わっていないことから、目先同地区の生産拡大ペースの加速が予想される。インフレ面では、仕入れ価格の水準が高いものの前月から低下しておりインフレ圧力は若干緩和の方向に向かっている。一方で、販売価格は小幅低下にとどまったため、交易条件のマイナス幅が縮小しており、企業の収益環境は改善している。このような中、雇用指数が+11.3と前月とほぼ変わらずとなっており、同地区製造業雇用の拡大が示唆されている。

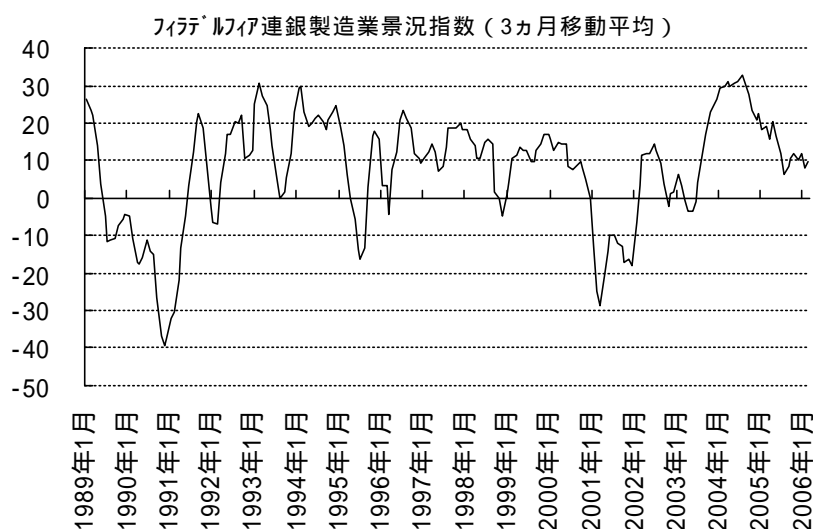
### 現状に先行する半年後の景況感は楽観的

先行きに関する調査では、半年後の景況感を示す指数が+31.1と1月の+28.7から小幅上昇し水準も高く、現在企業の楽観的な見方が強い状態にある。

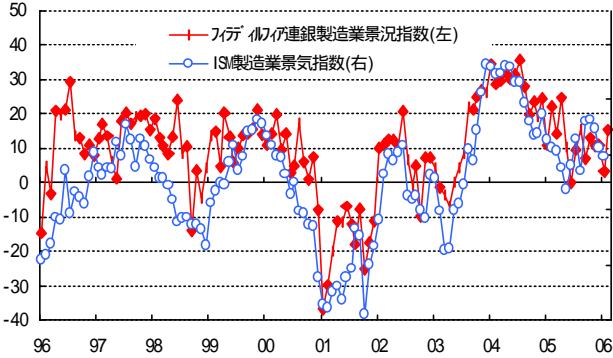
半年後の収益環境では、「販売価格が上昇するとの見方の割合」が低下しているが、「仕入れ価格が上昇するとの見方の割合」も同幅低下したことから、交易条件は変化しなかった。このような見通しのもと、在庫はプラスに転じており小幅積み増しを行う姿勢が示された。一方、半年後の労働時間が+11.5、雇用が+22.4と大幅なプラスで推移しており、今後雇用・所得環境の改善が期待できる。また、半年後の設備投資見通しが+23.5と1月の+18.9から上昇していることから、同地区製造業の設備投資の拡大持続が示唆されている。

## 2月のISM製造業景気指数は前月から上昇する可能性

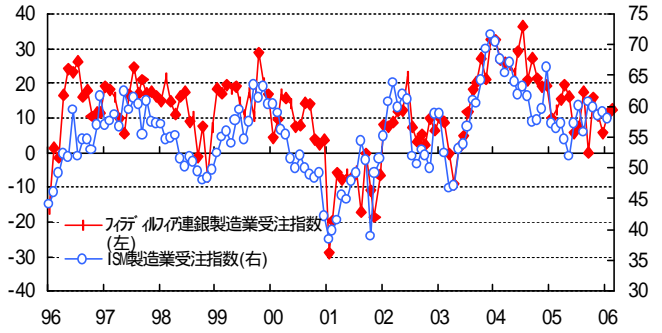
この指数は、ペンシルベニア州東部、デラウェア州、ニュージャージー州南部の製造業の景況感を表す指標であるが、全国の製造業の景況感を示すISM製造業景気指数と似た動きをすることが多い。2月にNY連銀製造業景況指数(エンパイア・ステイト景況指数)、フィラデルフィア連銀製造業景況指数がともに上昇したことから判断すると、2月のISM製造業景気指数は1月の54.8から55.7程度への上昇が見込まれる。



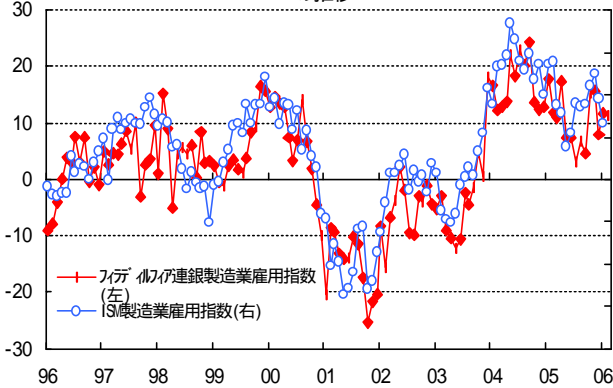
フィデリアル連銀製造業景況指数とISM製造業景況指数の推移



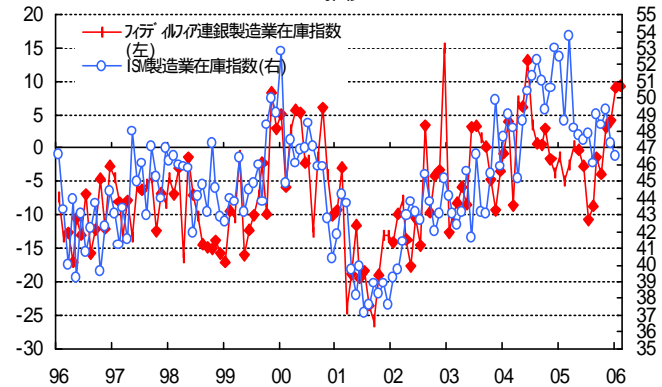
フィデリアル連銀製造業受注指数とISM製造業受注指数の推移



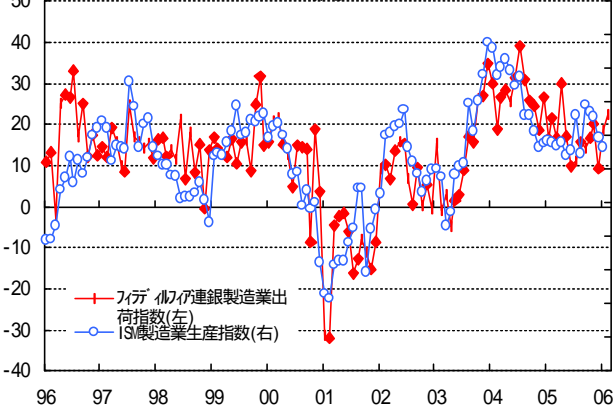
フィデリアル連銀製造業雇用指数とISM製造業雇用指数の推移



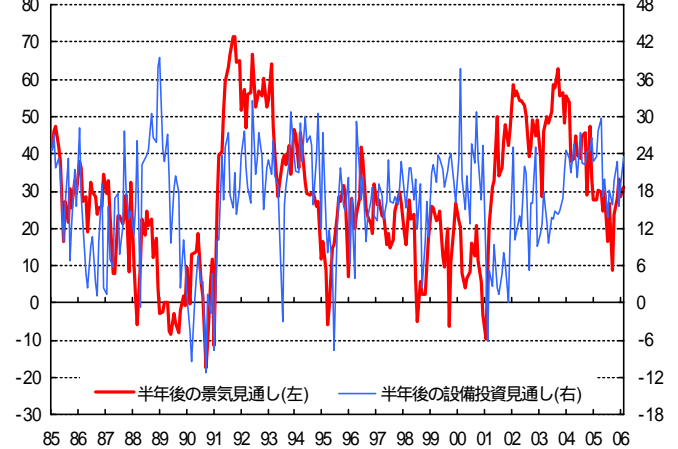
フィデリアル連銀製造業在庫指数とISM製造業在庫指数の推移



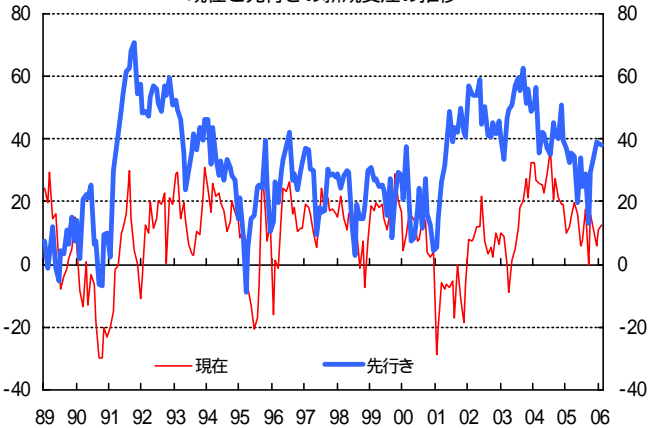
フィデリアル連銀製造業出荷指数とISM製造業生産指数の推移



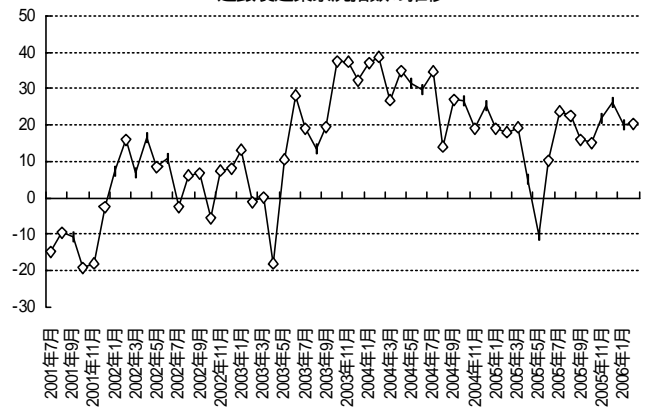
半年後の景気、設備投資見通しの推移



現在と先行きの新規受注の推移



NY連銀製造業景況指数の推移



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。